

草の根技術協力（パートナー型）案件概要表

I. 事業の概要	
1. 対象国名	カンボジア国
2. 案件名	カンダール州前期中等教育機関におけるインクルーシブ教育推進のための環境整備事業
3. 事業の背景と必要性	カンボジアでは近年、障がい児の教育へのアクセスを改善するためにインクルーシブ教育が推進されている。しかし実際の教育現場では、インクルーシブ教育が深く理解され、適切に実践されている学校は極めて少ない。障がいに対する偏見の解消や障がいの人権・社会モデルの浸透、研修制度を含む学校の受け入れ体制整備、地域の支援体制構築等、取り組むべき課題は多い。こうした背景をふまえ、本事業では、障がい児を取り巻く前期中等教育に関する課題の調査分析、前期中等教育機関のバリアフリー化、教員の研修実施、研修ガイドライン作成等を実施し、前期中等教育機関における障がい児の受け入れ体制を整備する。
4. プロジェクト目標	対象校において障がいのある生徒の受け入れ体制が整備される
5. 対象地域	カンダール州 クサイ・カンダール郡、及び、アレイクサット市
6. 受益者層 (ターゲットグループ)	カンダール州 POE 職員、クサイ・カンダール郡およびアレイクサット市教育事務所職員、対象地内の前期中等教育機関 15 校の教員約 300 名、就学障がい児約 50 名、啓発活動に参加する生徒約 650 名、対象地内の不就学障がい児約 25 名
7. 生み出すべきアウト プット及び活動	<アウトプット> 1. 前期中等教育機関における就学障がい児及び不就学障がい児の支援ニーズと支援策が特定される。 2. 前期中等教育機関において、学校施設のバリアや心理的バリアの解消により学習環境が整備される。 3. 対象校の教員や行政職員がインクルーシブ教育の推進に必要な知識や技術を身に付ける。 <活動> 1. 就学障がい児・不就学障がい児の実態調査を通して、校内で直面する困難や就学に必要な支援策を特定し、関係者と共有する。 2. バリアフリー仕様のトイレや舗装路の設置等、物理的な環境の整備、及び生徒対象の啓発活動を行う。 3. 州や郡の教育行政官及び前期中等教育機関から選定したインクルーシブ教育担当教員と共に、マニュアル実用化のためのガイドラインを策定し、校内研修を実施する。
8. 実施期間	(西暦) 2025 年 5 月～2028 年 4 月 (3 年)
9. 事業費概算額	99,703 千円
10. 相手国側実施機 関 (カウンターパート)	カンダール州教育局中等教育課
II. 団体の概要	
1. 実施団体／指定団 体	特定非営利活動法人 難民を助ける会 (AAR Japan)
2. 主な活動内容	1979 年にインドシナ難民支援を目的に発足し、これまでに、65 を超える国・地域で支援を展開している。主に、6 つの活動分野（難民支援、地雷・不発弾対策、障がい者支援、災害支援、感染症対策／水・衛生、提言／国際理解教育）に取り組んでいる。